

はり ま りん かい ち いき だい に しんめい ひろ は た
播磨臨海地域道路 第二神明～広畑
計画段階評価

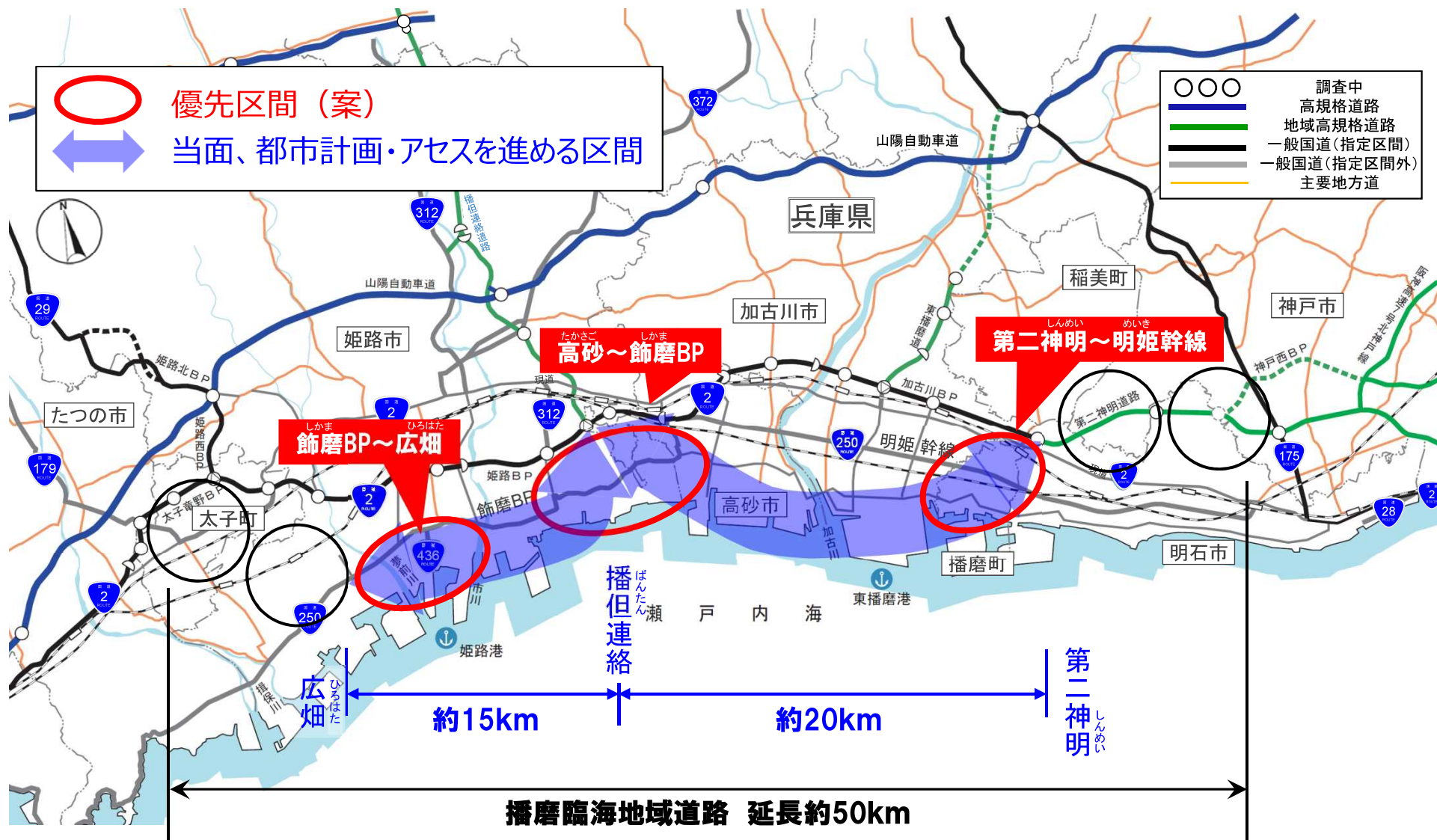
令和2年6月

目 次

1. 前回までの審議内容	・ ・ ・	2
2. 地域の意見聴取(第2回)の内容について	・ ・ ・	7
3. 地域の意見聴取(第2回)の結果について	・ ・ ・	1 0
4. 対応方針(案)の検討	・ ・ ・	2 3
5. 自治体への意見照会	・ ・ ・	2 8
6. 対応方針(案)まとめ	・ ・ ・	3 6
7. 今後の流れ(案)	・ ・ ・	3 9

1. 前回までの審議内容

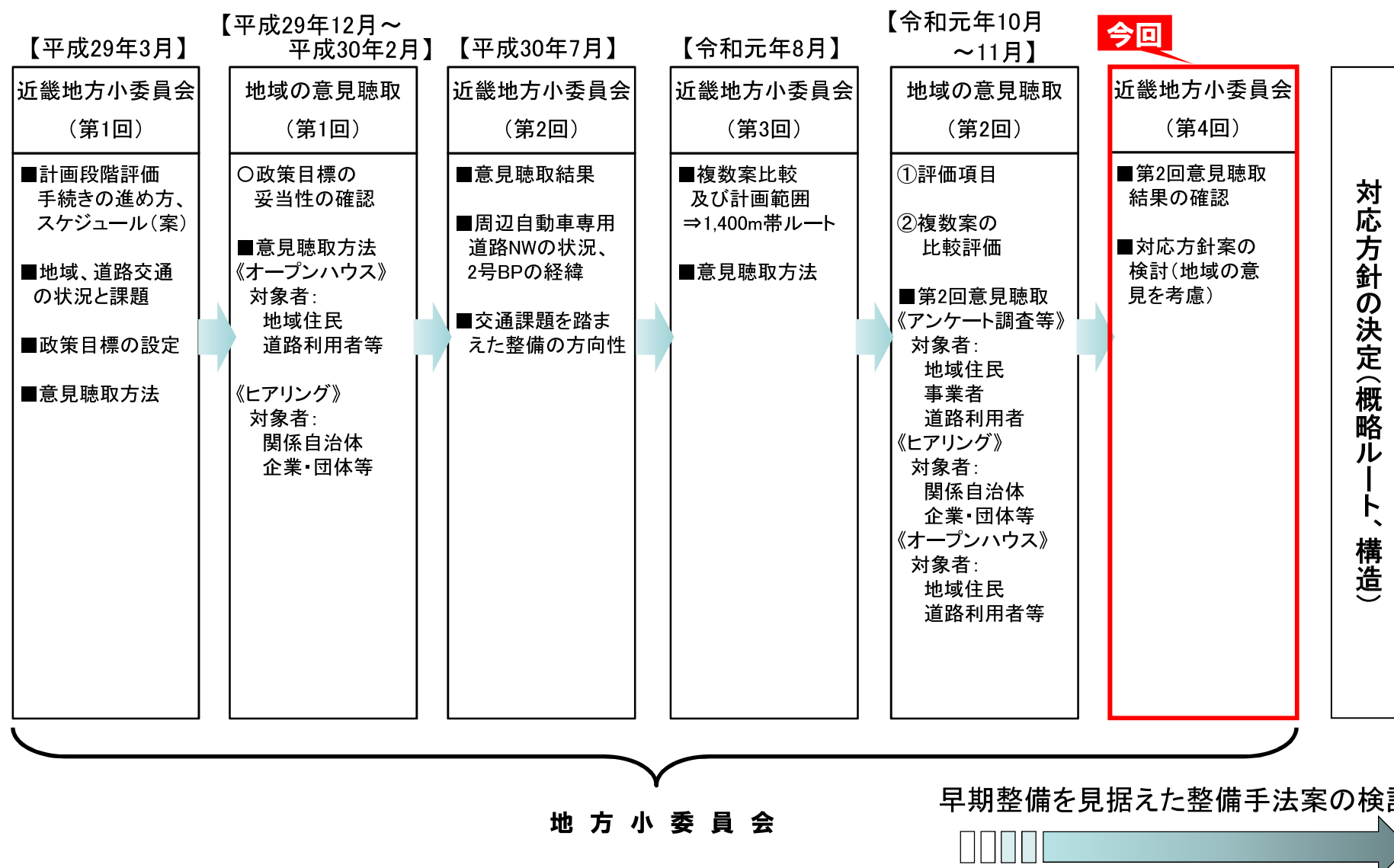
1-1. 評価対象区間



1-1. 評価対象区間

■ これまでの計画段階評価手続きの流れ

今回は地域住民や道路利用者の意見を整理し、対応方針案について検討を行う



1-1. 前回審議内容

■ 近畿地方小委員会(3回目)の概要

- 実施日時: 令和元年8月7日(水) 10:30~11:45
- 場所: 近畿地方整備局 新館 3階 A会議室
- 主な議題
 1. 播磨臨海地域道路の周辺状況
 2. これまでの経緯
 3. 対応方針(ルート帯案)について
 4. 第2回意見聴取の方法
 5. 今後の計画段階評価の進め方(案)

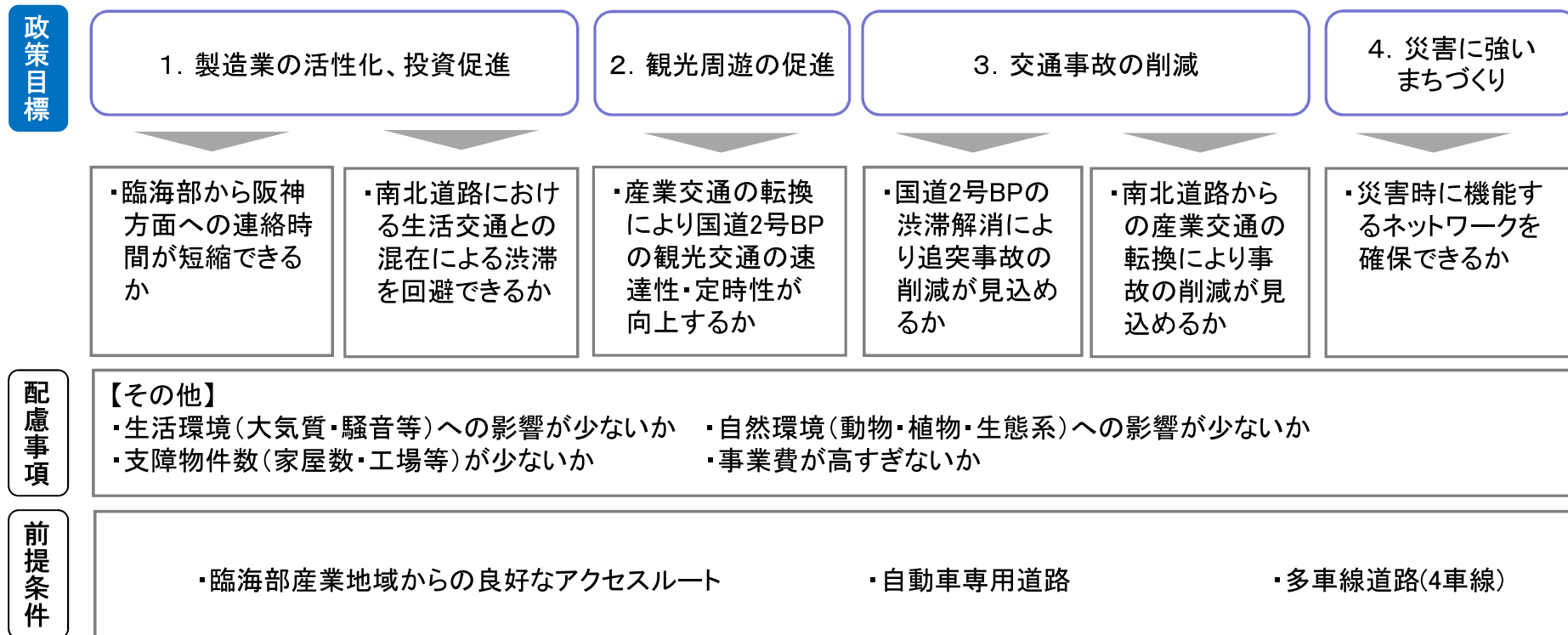
■ 近畿地方小委員会(3回目)での主な指摘事項と対応状況

指摘事項	対応状況
○ 道路の整備と合わせた地域のまちづくりについて、沿線自治体と連携して進めるべき。	○ 道路の整備と合わせた地域のまちづくりについては、沿線自治体と十分に調整を図っていく。
○ アンケートについては分かりやすい説明資料になるよう配慮してほしい。	○ 説明用のパンフレットを作成。
○ アンケート手法については、多くの人に協力していただけるように配慮してほしい。特に、若い人たちの意見を取り込めるようにSNS等を活用したアンケート周知も検討すべき。	○ 意見聴取の実施については、記者発表、新聞広告、広報誌、HP、SNSにより周知。
○ 政策目標に記載されている「産業交通の排除」について、南北道路から新たなルートへの産業交通の転換を目指すという趣旨であり、適切な表現に変更した方がよいのでは。	○ 「産業交通の転換」に表現を修正。

1-2. 政策目標

○政策目標、配慮事項、前提条件等を踏まえて、対応方針を検討。

■ 当該地域の課題を早期に解決する政策目標を設定



政策目標、配慮事項、前提条件等を踏まえて、ルート帯案を設定

※現道上の空間を活用する案は、播磨臨海地域道路が「自動車専用道路」で「リダンダンシーの確保」を目指す路線であるため、比較案としない

2. 地域の意見聴取(第2回)の内容について

2-1. 意見聴取の実施内容

■ 意見聴取期間

令和元年10月1日(火)～11月30日(土)

■ 意見聴取

・アンケートによる意見聴取

対 象	調査対象者	調査手法	調査規模
地域住民	こうべ 神戸市西区、 ひめじ 姫路市、 あかし 明石市、 かこがわ 加古川市、 たかさご 高砂市、 いなみ 稲美町、 はりま 播磨町	郵送配布・回収	3,700世帯 ※無作為抽出
		留め置き	29箇所
道路利用 者等	兵庫県等	WEBアンケート (姫路河川国道・自治体HP)	—
事業所	神戸市西区、姫路市、明石市、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町	郵送配布・回収	4,200事業所 ※無作為抽出

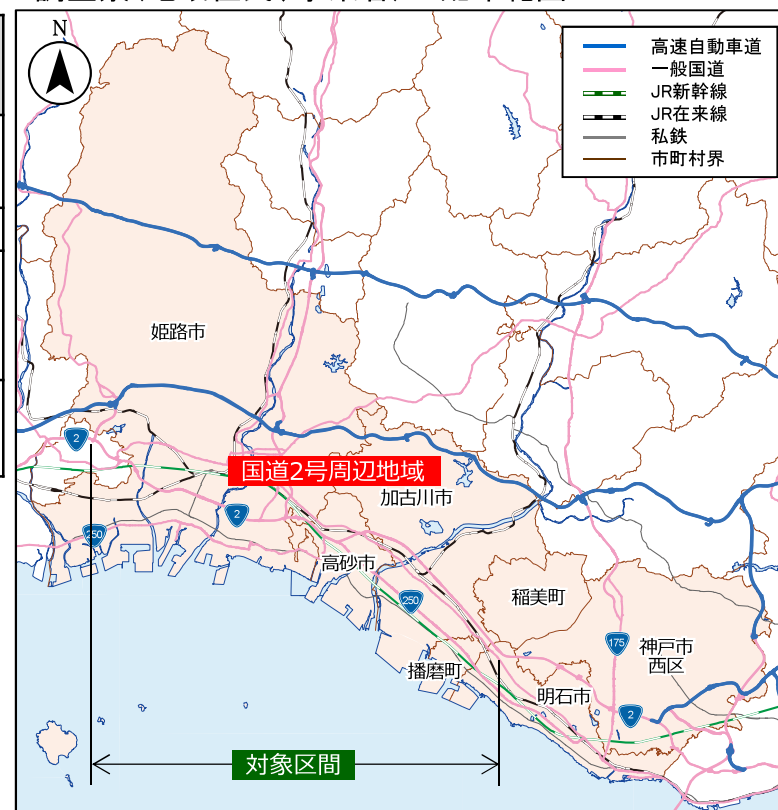
・ヒアリング調査による意見聴取

対 象	
関係団体 ・企業	○関係自治体 ○救急医療関係者 ○商工会・商工会議所 ○製造業・物流業 ○観光業・バス・タクシー業 ○農業・漁業 ○住民代表

・オープンハウスによる意見聴取

対 象	
地域住民 (計15箇所)	ショッピングモール、SA・PA等

・調査票(地域住民、事業者)の配布範囲



2-1. 意見聴取の実施内容

■ 調査票形式、ヒアリング調査の実施状況

・アンケートによる意見聴取

調査票形式		調査状況			参考
		配布数	回収数	回収率	
地域住民・道路利用者等	無作為抽出による郵送配布・回収	3,700部	1,042部	28.2%	2,176部
	留置きアンケート	—	838部	—	
	WEBアンケート	—	296部	—	
事業所	無作為抽出による郵送配布・回収	4,200部	1,262部	30.0%	1,262部

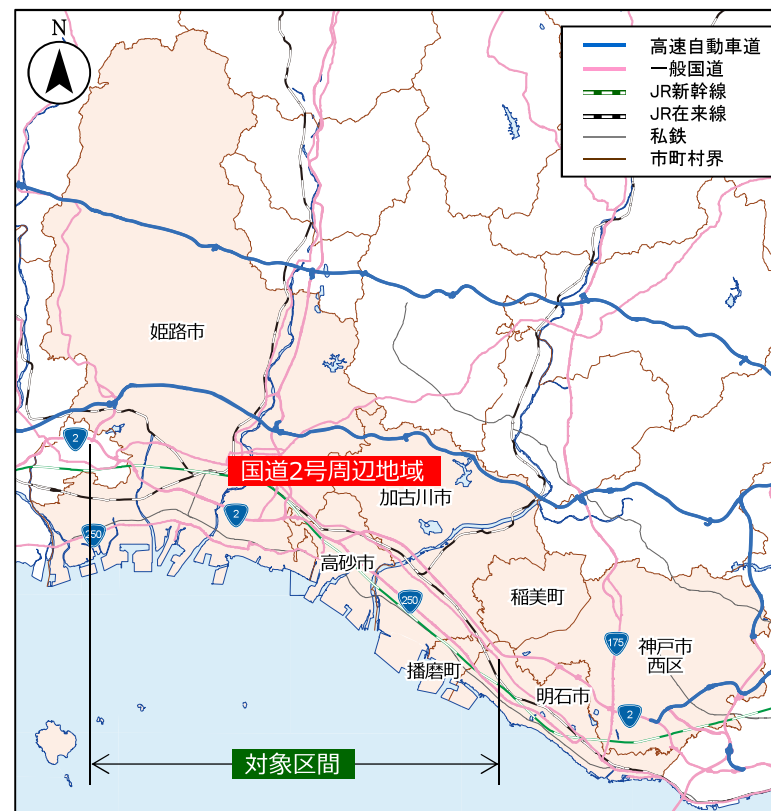
・ヒアリング調査による意見聴取

ヒアリング調査		実施状況
関係団体・企業	関係自治体	9者
	救急医療関係者	1者
	商工会・商工会議所	8者
	製造業・物流業	48者
	観光業・バス・タクシー業	8者
	農業・漁業	12者
	地域住民	69者
	計	155者

・オープンハウスによる意見聴取

調査票形式	調査状況
オープンハウス	3,221部

・調査票(地域住民、事業者)の配布範囲



3. 地域の意見聴取(第2回)の結果について

3-1. 意見聴取の結果 住民等への調査票(ルート帯案の妥当性)

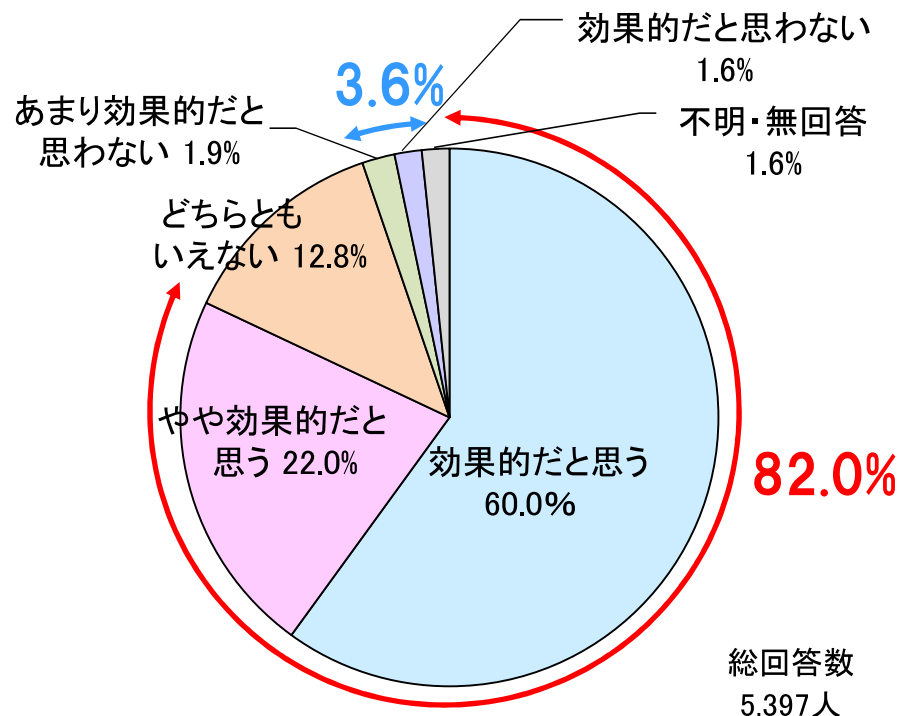
- 今回示したルート帯案は、「効果的だと思う(効果的+やや効果的)」割合が約8割を占める。
- 「効果的だと思わない(効果的でない+あまり効果的でない)」割合は、1割を下回る。

ルート帯案の妥当性（アンケート調査、オープンハウス）

【問2-1】地域・交通の課題を解消するために、今回お示したルート帯案は効果的だと思いますか？
【単一回答】

【問2-2】効果的、あるいは効果的でないと思う理由があれば、お答えください
【自由回答】

<無作為抽出+留置きアンケート+WEB+オープンハウス>



※四捨五入の関係で構成比の合計が100%とならない場合がある。

分類		主な意見
効果的だと思う	ルート帯案が妥当だと思う【731件】	・加古川BPは交通集中だけではなく、事故が非常に多く、渋滞が激しい。交通分散することにより非常に効果的。
	その他【8件】	・現実的にこのルートのあたりしか道路が通せないと思います。
効果的だと思わない	現状の道路で十分、必要性を感じない【52件】	・今後、ますます人口が減っていく中、新たな道路の建設は不要。
	ルート帯案が妥当ではない【46件】	・第二神明の渋滞がより悪化することが予想される。
	その他【23件】	・渋滞が多いがそれが解決されるのか見えない。
その他【90件】		・便利で安全になるのでしたらいいと思いますが、よくわかりません。

※総延べ回答数：950件

3-1. 意見聴取の結果 住民等への調査票(ルート帯案検討時の重視事項)

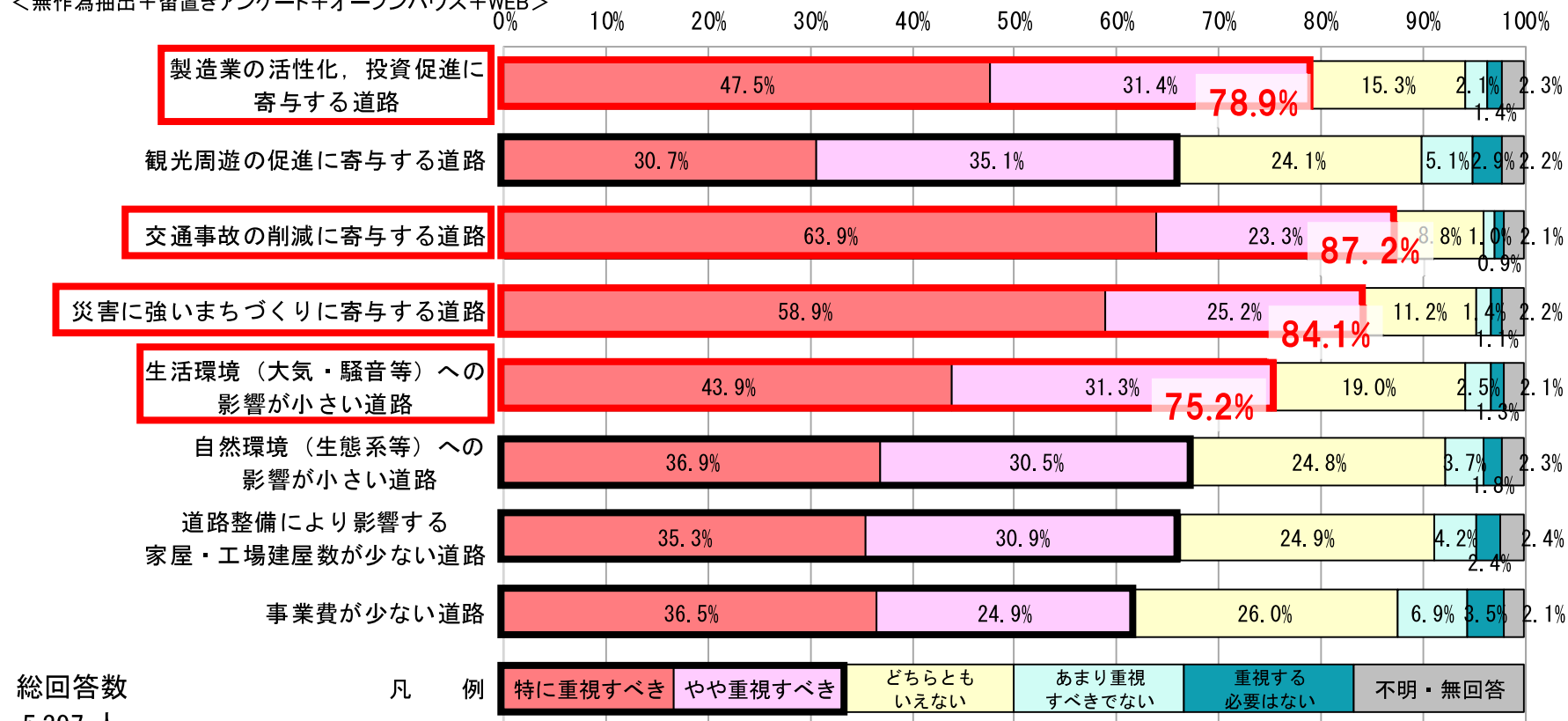
- 政策目標については、「製造業の活性化、投資促進に寄与する道路」、「交通事故の削減に寄与する道路」、「災害に強いまちづくりに寄与する道路」について重視すべきとの回答が7割を上回る。
- 配慮事項については、「生活環境(大気・騒音等)への影響が小さい道路」について重視すべきとの回答が7割を上回る。

地域にとって望ましいルート帯案を検討する際に重視すべき事項(アンケート調査、オープンハウス)

【問3】地域にとって望ましいルート帯案を検討する際に、どのような項目を重視すべきだと思いますか？

【単一回答】

<無作為抽出+留置きアンケート+オープンハウス+WEB>



※四捨五入の関係で構成比の合計が100%とならない場合がある。

3-1. 意見聴取の結果 住民等への調査票(ルート帯案検討時の配慮事項)

○ルート帯案を検討する際に配慮すべき事項についての意見では、政策目標の「製造業の活性化、投資促進」に関する内容の他、「早期着工・早期整備」、「ルート帯」、「道路構造」に関する内容が多い。

ルート帯案を検討する際に配慮すべき事項（アンケート調査、オープンハウス）

【問4】ルート帯案を検討する際に、配慮すべき事項があれば、お答えください。【自由回答】

分類		主な意見
政策目標	製造業の活性化、投資促進【193件】	・渋滞解消を重視。 ・臨海地域の事業所の成長に資するルートにして欲しい
	観光周遊の促進【6件】	・既存道路との結節点での渋滞を緩和する工夫が必要
	交通事故の削減【90件】	・大型車による追突事故が減少するような対策を十分検討してほしい。 ・沿線住民の交通安全、混雑解消を最優先に検討いただきたい。
	災害に強いまちづくり【69件】	・近年の災害から自然災害時にも機能するルートが望ましい。 ・災害(地震・津波・風水害)に強い道路(ハード面)としていただきたい。
配慮事項	生活環境への影響【55件】	・大気汚染と騒音による身体への影響が一番心配されます。
	自然環境への影響【17件】	・自然環境(生態系等)への影響が小さいこと。
	支障となる家屋及び工場等【92件】	・市街化調整区域内でも遊休地が多くある場所を活用してほしい。
	事業費が少ない道路【88件】	・コストが少ないルートを検討してほしい。
その他	早期着工・早期整備に関する意見【149件】	・可能な限り早期実現してほしい。
	有料化に関する意見【43件】	・早く整備すべき(有料でも)。 ・無料で早く完成。
	将来動向やまちづくりに関する意見【33件】	・地域が分断されないようにしてほしい。
	道路へのアクセス性に関する意見【96件】	・一般道路から乗りやすい道路としてほしい。
	ルート帯に関する意見【264件】	・地元が一番有効なルート帯を選択してほしい。
	道路構造に関する意見【194件】	・形状、アップダウン、カーブが少ない道路。
	環境全般【59件】	・環境破壊するような工事はやめてほしい。
	反対意見【33件】	・人口減少社会の到来が見込まれており、必要性があるのか。
	その他【114件】	・せっかくなのであれば、近未来的な道路をつくれれば活性化しそう。

※総延べ回答数:1595件

3-1. 意見聴取の結果 住民等への調査票(自由意見)

○その他の意見・要望においても政策目標の「製造業の活性化、投資促進」に関する内容の他、「早期着工・早期整備」、「ルート帯」に関する意見が多い。

自由意見（アンケート調査、オープンハウス）

【問5】その他、播磨臨海地域道路について、ご意見やご要望がありましたらお答えください。【自由回答】

分類		主な意見
政策目標	製造業の活性化、投資促進【132件】	・播磨臨海部の渋滞緩和は長年の懸案事項なのでできるだけ早期の完成を希望します。
	観光周遊の促進【5件】	・姫路バイパス特に出口の渋滞緩和に期待。観光バスの定時性が確保される。
	交通事故の削減【53件】	・安全に通行できる道路建設をお願いしたい。
	災害に強いまちづくり【41件】	・津波浸水面も考慮し大動脈のバイパスとして特に災害に強いルート、構造を期待します。
配慮事項	生活環境への影響【23件】	・大気、騒音はなるべく小さくして。
	自然環境への影響【9件】	・海側の場合、生態系への影響がないように！
	支障となる家屋及び工場等【11件】	・住宅地を通過する部分は出来る限り少なくすべき。
	事業費が少ない道路【40件】	・費用対効果も細かく精査願いたい。
その他	早期着工・早期整備に関する意見【349件】	・1日も早く整備してほしい。
	有料化に関する意見【67件】	・税金の負担をできるだけ少なくしてほしい。有料道路にして利用者からお金を徴収すれば良い。 ・開通後の料金はできるだけ安く。可能なら無料だと効果大と思う。
	将来動向やまちづくりに関する意見【38件】	・将来の地域の発展につながる道路にして欲しい。
	道路へのアクセス性に関する意見【31件】	・バイパスと播磨臨海地域道路のアクセス道路(南北道)も同時に整備すべきである。
	ルート帯に関する意見【133件】	・車の排ガス規制も進んでいることから住宅地から遥か遠方より、2号線にも近い使い勝手の良い道路を造っていただきたい。 ・神戸の湾岸線に接続してほしい。
	道路構造に関する意見【92件】	・PA・SAをつくってほしい。
	環境全般【30件】	・沿岸部・河川への環境対策を入念に！自然保護を第一！
	反対意見【48件】	・自然環境への影響を考えると新しい道路より、車そのものを減らす努力をするべきと考えます。
	その他【166件】	・幅広い情報開示と説明をお願いしたい。

※総延べ回答数：1268件

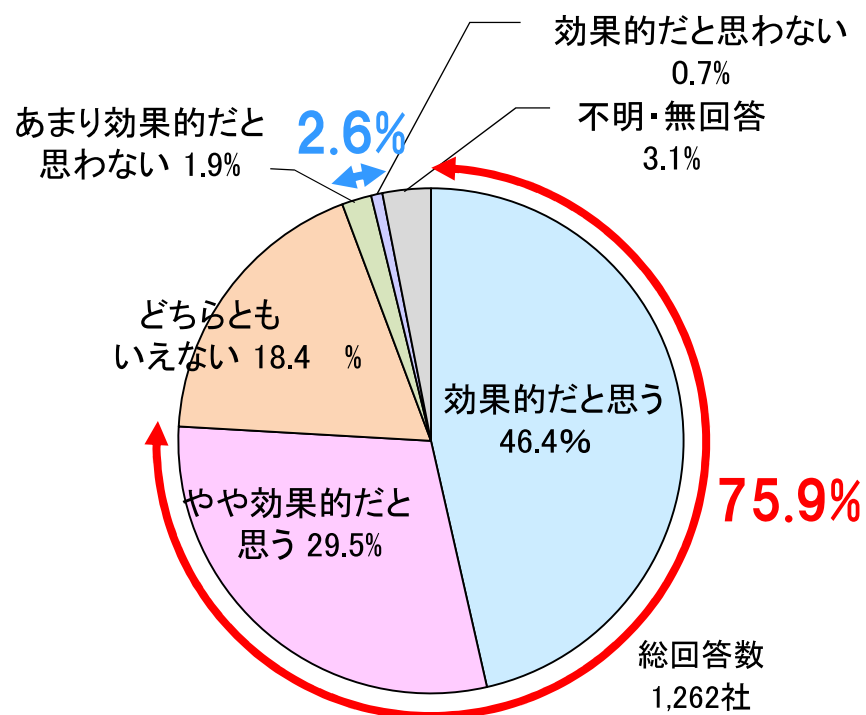
3-2. 意見聴取の結果 事業所への調査票(ルート帯案の妥当性)

○今回示したルート帯案は、「効果的だと思う(効果的+やや効果的)」割合が約8割を占める。

○「効果的だと思わない(効果的でない+あまり効果的でない)」割合は、1割を下回る。

ルート帯案の妥当性（アンケート調査）

【問2-1】地域・交通の課題を解消するために、今回お示したルート帯案は効果的だと思いますか？
【単一回答】



※四捨五入の関係で構成比の合計が100%とならない場合がある。

【問2-2】効果的、あるいは効果的でないと思う理由があれば、お答えください
【自由回答】

分類		主な意見
効果的だと思う	ルート帯案が妥当だと思う【180件】	- 事故渋滞が多く、新しい道路ができれば回避できる。また、長距離貨物の分散化ができる。 - 運送業関連会社が臨海付近から東西へ移動する事でバイパスまでの下道渋滞の緩和が期待できる。
	現状の道路で十分、必要性を感じない【12件】	道路が完成した時、現在と違い、経済や環境が大きく変化している可能性が高い。また、完成しても、今より大きな効果が出るとは思えない。
効果的だと思わない	ルート帯案が妥当ではない【20件】	- 地震、災害時にはリスクが高いのでは。 - 分かれている区間の交通量は減っても、合流地点で今よりひどい渋滞になる。
	その他【3件】	ルートを増やすだけでなく、それをうまく活用できるシステムの確立が必要だと思う。
その他【18件】		- 実際使用してみないとわからない。 - 本線以外、出入口の整備、合流点のわかりやすさなどを考えてほしい。

※総延べ回答数：233件

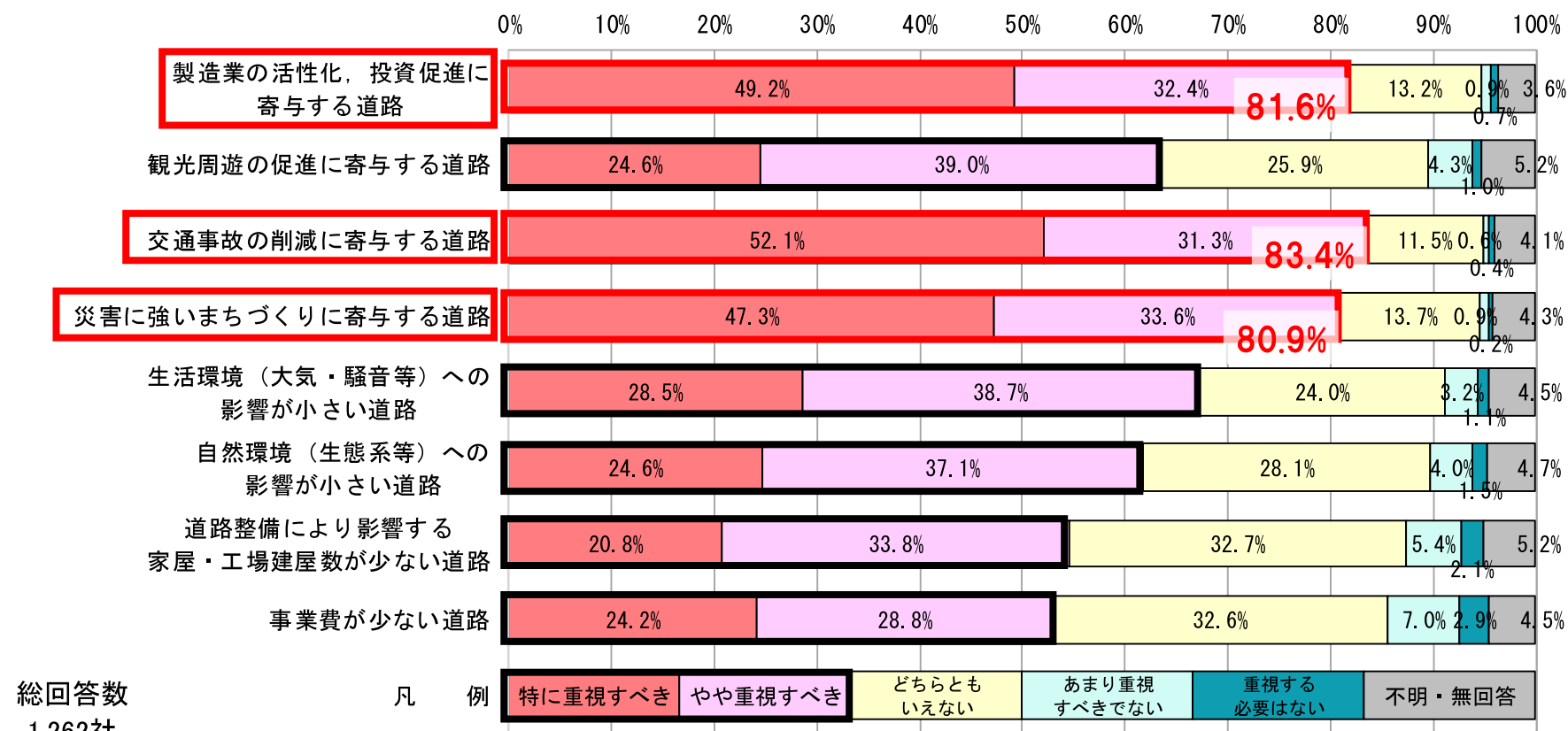
3-2. 意見聴取の結果 事業所への調査票(ルート帯案検討時の重視事項)

○政策目標の「製造業の活性化、投資促進に寄与する道路」、「交通事故の削減に寄与する道路」、「災害に強いまちづくりに寄与する道路」について重視すべきとの回答が7割を上回る。

地域にとって望ましいルート帯案を検討する際に重視すべき事項（アンケート調査）

【問3】地域にとって望ましいルート帯案を検討する際に、どのような項目を重視すべきだと思いますか？

【単一回答】



※四捨五入の関係で構成比の合計が100%とならない場合がある。

3-2. 意見聴取の結果 事業所への調査票(ルート帯案検討時の配慮事項)

○ルート帯案を検討する際に配慮すべき事項についての意見では、政策目標の「製造業の活性化、投資促進」に関する内容の他、「道路へのアクセス性」、「道路構造」に関する内容が多い。

ルート帯案を検討する際に配慮すべき事項（アンケート調査）

【問4】ルート帯案を検討する際に、配慮すべき事項があれば、お答えください。【自由回答】

分類		主な意見
政策目標	製造業の活性化、投資促進【52件】	・阪神方面への時間短縮と交通事故の削減に配慮お願いします。 ・産業道路として地元企業が活性化出来る事を期待します。
	観光周遊の促進【2件】	・姫路城等の観光目的による渋滞緩和と姫路市内であれば縦の幹線道路の渋滞が改善されていないと感じています。
	交通事故の削減【18件】	・トラックを多く見るので、できる限りトラックを分散させる道を作ってほしい。 ・交通事故の起きにくい道路の建設を望みます。
	災害に強いまちづくり【16件】	・災害時の代替として、災害に強い、又は復旧しやすい場所。 ・南海トラフに対応できるのか、きっちり考えてもらいたい。
配慮事項	生活環境(大気・騒音等)への影響が小さい道路【10件】	・民家の周辺の騒音、排ガスの対策を。
	自然環境(生態系等)への影響が小さい道路【2件】	・生態系の影響が少ない方がいい。
	道路整備の際に支障となる家屋・工場建屋数が少ない道路【12件】	・道路を新設するにあたって家の立ち退きは非常に困る。
	事業費が少ない道路【10件】	・費用対効果を重視してほしい。
その他	早期着工・早期整備に関する意見【21件】	・事故等が多いのでとにかく早く進めるべき。
	有料化に関する意見【5件】	・渋滞緩和のためのルートなら通行料金次第で効果が見込めない。(加古川BPが無料なのでかなり安くしないと利用しない。)
	将来動向やまちづくりに関する意見【14件】	・事業費等の目先にとらわれず、将来を見据えた道路を造って下さい。
	道路へのアクセス性に関する意見【37件】	・多方面へのアクセスが便利な様にルートを考えて欲しい。
	ルート帯に関する意見【31件】	・出来るだけ道幅が広くとれるルート帯案をお願いします。
	道路構造に関する意見【46件】	・高架道路にすべき。
	環境全般【11件】	・観光名所になるくらいの美しい道路をつくるべきだ。
	反対意見【3件】	・利用率の少ない道路はつくるべきではない。
	その他【38件】	・特定の人や企業に有利になりすぎないように。

※総延べ回答数:328件

3-2. 意見聴取の結果 事業所への調査票(自由意見)

○その他の意見・要望においては政策目標の「製造業の活性化、投資促進」に関する内容の他、「早期着工・早期整備」に関する意見が多い。

自由意見（アンケート調査）

【問5】その他、播磨臨海地域道路について、ご意見やご要望がありましたらお答えください。【自由回答】

分類		主な意見
政策目標	製造業の活性化、投資促進【43件】	・物流の大型車(トラック)が同道路へ流れる為、渋滞の緩和効果は大きいと思います。
	観光周遊の促進【4件】	・姫路西側のシーリゾートが盛り上がるために、早めの実現をお願いしたい。
	交通事故の削減【15件】	・少しでも早く完成して交通事故が減少することを期待します。
	災害に強いまちづくり【7件】	・自然災害に強い道路に。
配慮事項	生活環境への影響【0件】	(意見なし)
	自然環境への影響【2件】	・海洋生物に影響のないように埋め立て等はやめてほしい。
	支障となる家屋及び工場等【1件】	・既存の家屋、工場が少ない沿岸ルートが望ましいと思う(明石ルート)。
	事業費が少ない道路【9件】	・建設コストを安くするだけではなく、メンテナンスコスト、災害対策等を総合的に判断することを希望します。
その他	早期着工・早期整備に関する意見【92件】	・できるだけ早く検討し着工してほしいです。
	有料化に関する意見【9件】	・ある程度有料でもいいので、渋滞の少ない道路が必要だと思う。交通量の多い時間帯は有料にするなどして分散させてみてはどうか？ ・有料道路にはしないほしい。有料にすると避ける大型車もあり、結果、今と何も変わらない状態になると思われる。
	将来動向やまちづくりに関する意見【11件】	・将来的に人口が減少することは事実でそれに伴い車両数も減少するのでそれを見越した計画を望みます。
	道路へのアクセス性に関する意見【6件】	・東西道路と南北道のアクセスが便利なることを願います。
	ルート帯に関する意見【17件】	・太子町に向けた接続道路が計画できれば、なお利便性が高いと思います。
	道路構造に関する意見【20件】	・出来るだけ道路幅を広くして、複数通行路にして下さい。
	環境全般【4件】	・その道路自体が観光地となるような道路になれば良い。
	反対意見【5件】	・別に必要ない道路。
	その他【17件】	・開通に向けての積極的なPRが重要。

※総延べ回答数：262件

3-3. 意見聴取の結果 関係団体ヒアリング(ルート帯案の妥当性)

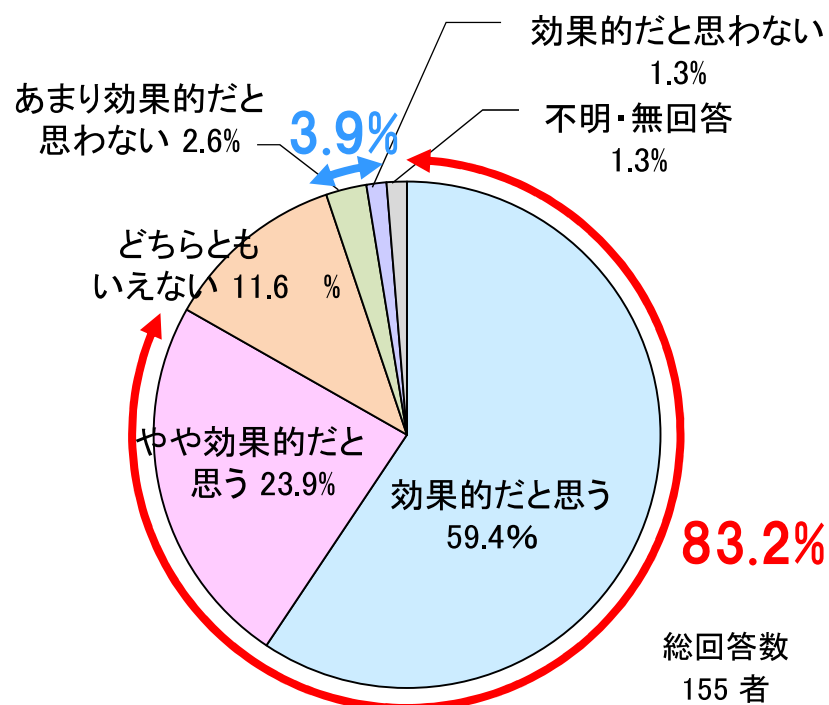
○今回示したルート帯案は、「効果的だと思う(効果的+やや効果的)」割合が約8割を占める。

○「効果的だと思わない(効果的でない+あまり効果的でない)」割合は、1割を下回る。

ルート帯案の妥当性（ヒアリング）

地域・交通の課題を解消するために、今回お示したルート帯案は効果的だと思いますか？【単一回答】

効果的、あるいは効果的でないと思う理由があれば、お答えください【自由回答】



※四捨五入の関係で構成比の合計が100%とならない場合がある。

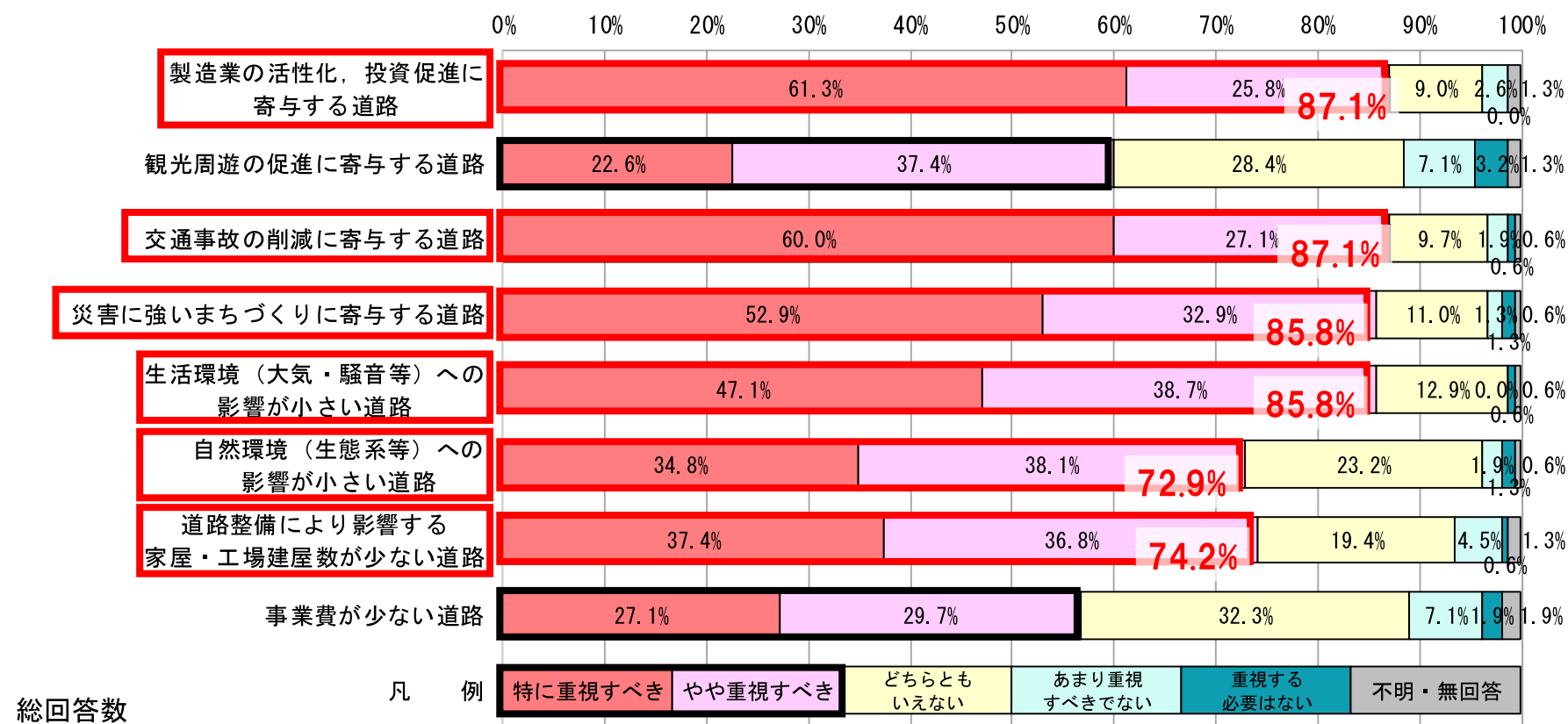
分類		主な意見
効果的だと思う	ルート帯案が妥当だと思う	・国道2号線バイパスとのアクセス性が良く、播磨臨海地域から神戸港までの速達性・定時性の向上が期待できる。【製造業・物流業】
	その他	・姫路バイパスの南側に拠点がある場合は、加古川や市川の渋滞を回避できるようになるため非常に有意義だと思います。【製造業・物流業】
効果的だと思わない	現状の道路で十分、必要性を感じない	・バイパスの道路をこれ以上増やしても公害が心配されるので【住民代表】
	ルート帯案が妥当ではない	・通行車両が増え事故も多くなり騒音や大気汚染で農作物や家畜にも影響がでる。【住民代表】
	その他	・産業道路としては効果があると思う。通られるだけでは自治会が分断されることになるためいい。【住民代表】
その他		・今回の带状のルート案ではインターチェンジの場所やアクセスルートなど具体的なものがないのでどちらともいえない。【農業・漁業】 ・何年かかるのかで効果はかわる【住民代表】

3-3. 意見聴取の結果 関係団体ヒアリング(ルート帯案検討時の重視事項)

- 政策目標については、「製造業の活性化、投資促進に寄与する道路」、「交通事故の削減に寄与する道路」、「災害に強いまちづくりに寄与する道路」について重視すべきとの回答が7割を上回る。
- 配慮事項については、「生活環境(大気・騒音等)への影響が小さい道路」、「自然環境(生態系等)への影響が小さい道路」、「道路整備により影響する家屋・工場建屋数が少ない道路」について、重視すべきとの回答が7割を上回る。

地域にとって望ましいルート帯案を検討する際に重視すべき事項(ヒアリング)

地域にとって望ましいルート帯案を検討する際に、どのような項目を重視すべきだと思いますか【単一回答】



※四捨五入の関係で構成比の合計が100%とならない場合がある。

3-3. 意見聴取の結果 関係団体ヒアリング(主な自由意見)

- 政策目標、配慮事項に関する主な意見は以下のとおりである。
○その他の主な意見として、早期着工・早期整備に関する意見がある。

分 類		関係団体ヒアリングにおける主な自由意見
政策目標	製造業の活性化、投資促進	製造業としては、現場で物づくりを行うためその場に人や物を集め、製品をお客様のもとへ届けるという活動を日々行っています。利用コストや目的地へのスピード、また、既存の周辺道路との関係についても考慮が必要と考えます。【製造業・物流業】
	観光周遊の促進	定時性が向上すれば、観光バス等による播磨地域－阪神間の観光周遊において、さらなる観光客数の増加が期待される。さらに、但馬地域や瀬戸内方面も含めた広域観光周遊の促進にもつながる。【商工会・商工会議所】
	交通事故の削減	現在のBPは生活道路の性質も持っており、特に大型車を高規格(車線数、直線性による高速走行)の道路への誘導はもはや必要である。【住民代表】
	災害に強いまちづくり	- 有事の際の代替路、迂回路は必須。河川の氾濫や津波に耐えうる強固な高架道路の敷設は重要。【バス・タクシー業】 - 国道2号BPに依存している現状において、災害等の有事の際、東西の物流・人流が大幅に滞ることになる。道路ネットワークの代替性の確保は重要。【商工会・商工会議所】
配慮事項	生活環境(大気・騒音等)への影響が小さい道路	- コストはあるが、可能な限り環境への配慮は必要。【商工会・商工会議所】 - 住民の日常生活への悪影響のある道路は避けるべき。【住民代表】
	自然環境(生態系等)への影響が小さい道路	- 自然環境(生態系等)への影響が小さいに越したことはない。【製造業・物流業】 - 臨海部への幹線道路敷設となるため、播磨灘の特産物を守ることにについても配慮いただきたい。【製造業・物流業】
	道路整備の際に支障となる家屋・工場建屋数が少ない道路	基幹産業である製造業は、広大な敷地に工場を有しており、移転問題が起これば町の将来を決定づける事態になってしまうため、慎重に考えるべきである。【商工会・商工会議所】
	事業費が少ない道路	税金を投入する以上、事業が少ないにこしたことはないが、優先すべきは地域の意見である。【製造業・物流業】
その他		- 国道2号バイパスの慢性的交通渋滞の緩和の為、早期整備をお願いしたい。【商工会】 - 播磨臨海地域企業の生産活動活性化に向けて早期着工を望む。【製造業・物流業】 - 早期整備を願う。料金よりも時間を優先させてほしい。【製造業】 - 無料にこしたことはない。多少コストがかかっても、定時性、速達性。【物流業】

3-4. 第2回意見聴取の結果のとりまとめ

■意見聴取の結果

- 提示した4つのルート帯案について、全ての意見聴取において「効果的だと思う（効果的＋やや効果的）」割合が約8割を占めており、「効果的だと思わない（効果的ではない＋あまり効果的ではない）」割合は、1割を下回る。
- 「住民等」及び「事業所」へのアンケート調査、オープンハウス、「関係団体」へのヒアリングの結果のいずれかにおいて、「製造業の活性化、投資促進」、「交通事故の削減」、「災害に強いまちづくり」、「生活環境への影響」、「自然環境への影響」、「支障となる家屋及び工場等」の6項目を重視（重視＋やや重視）する意見が7割以上となった。

■対応方針（案）を選ぶ際に重視すべき項目

- 対応方針（案）を選ぶ際に重視すべき項目は、いずれかの意見聴取において重視（重視＋やや重視）する意見が7割以上となった6項目のうち、全ての意見聴取において重視（重視＋やや重視）する意見が7割以上であった下記3項目とする。
 - ・ **製造業の活性化、投資促進**
（臨海部からの阪神方面への連絡時間の短縮、南北道路における生活交通との混在による渋滞の回避）
 - ・ **交通事故の削減**
（国道2号BPにおける渋滞解消による追突事故の削減、南北道路からの産業交通の転換による事故の削減）
 - ・ **災害に強いまちづくり**
（災害時に機能するネットワークの確保）
- その他の項目（「生活環境への影響」、「自然環境への影響」、「支障となる家屋及び工場等」）については、今後の環境影響評価手続きや路線・構造の検討において十分な配慮に努める。

4. 対応方針(案)の検討

4-1. ルート帯案の概要(複数案の比較)

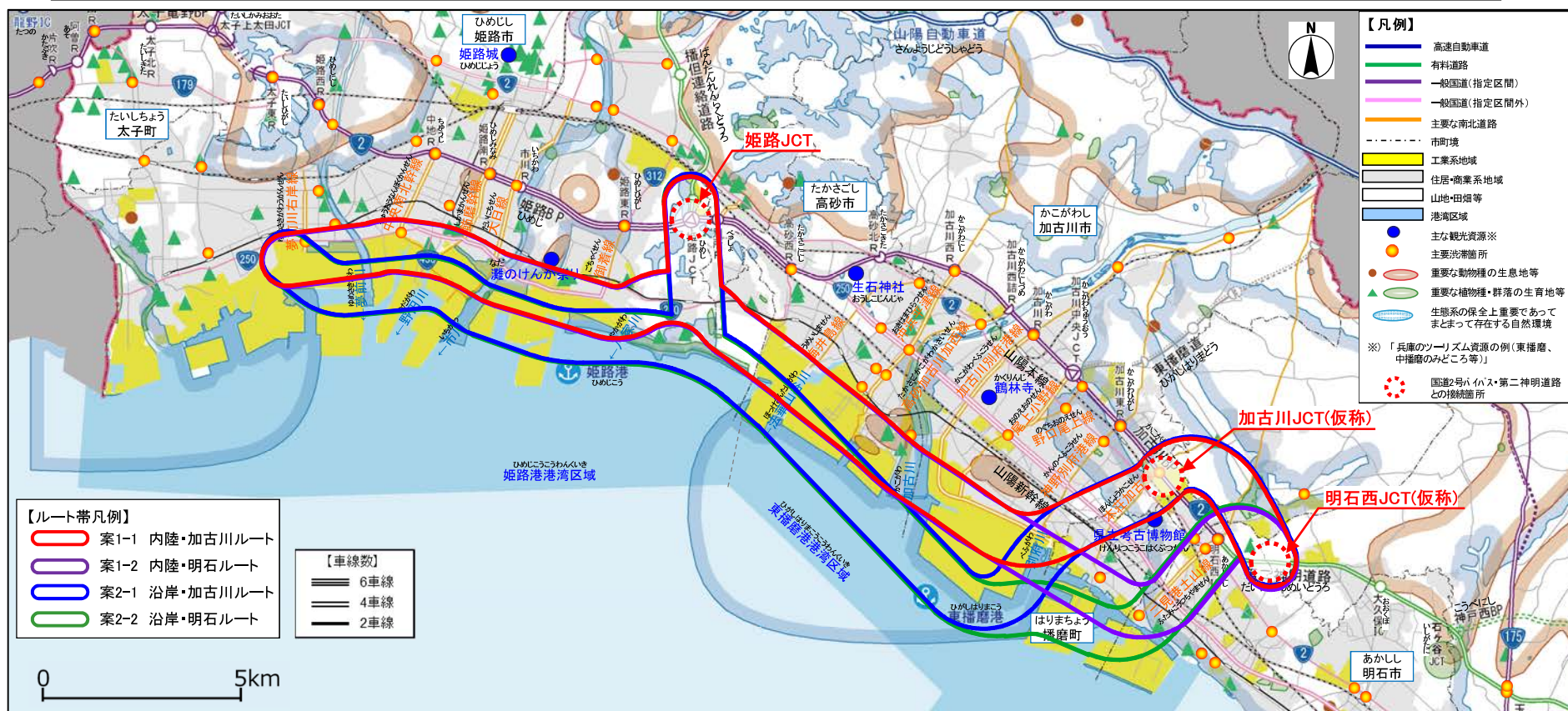
■ ルート帯案

【案1-1】内陸・加古川ルート … 加古川市の市街化調整区域及び住宅密集地と企業集積地の間の空間や公共空間を活用する案

【案1-2】内陸・明石ルート … 明石市の市街化調整区域及び住宅密集地と企業集積地の間の空間や公共空間を活用する案

【案2-1】沿岸・加古川ルート … 加古川市の市街化調整区域及び企業地内の空間や海上空間を活用する案

【案2-2】沿岸・明石ルート … 明石市の市街化調整区域及び企業地内の空間や海上空間を活用する案



【参考文献】

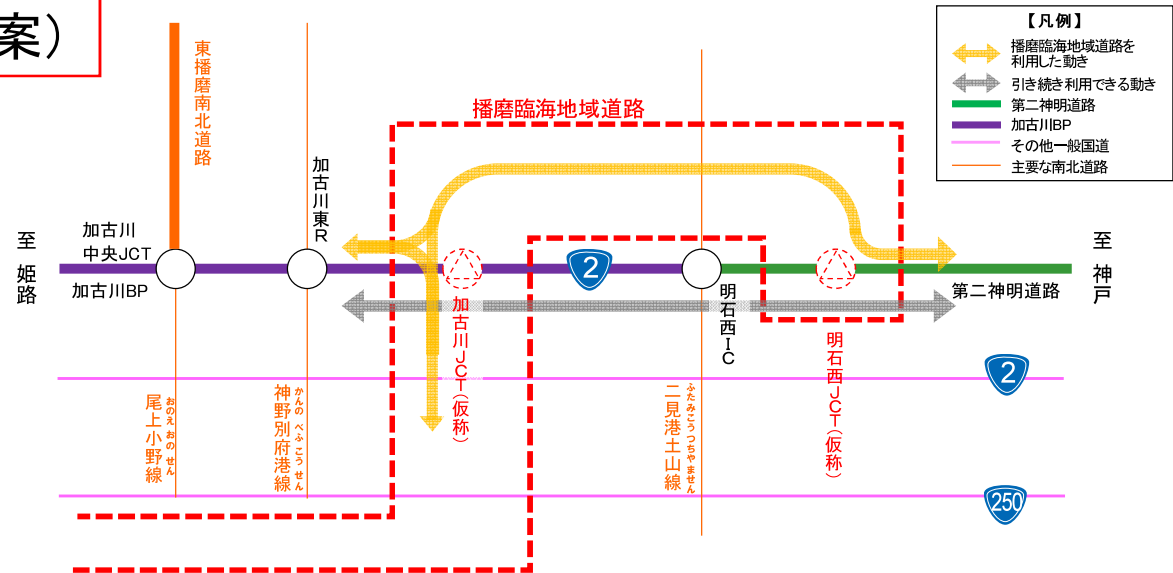
「第2回自然環境保全基礎調査」(昭和56年、環境庁)、「県指定文化財一覧」兵庫県教育委員会HP、「市内の指定・登録文化財」明石市HP、「指定文化財」稲美町HP、「町内の指定文化財一覧」播磨町HP、「指定・登録文化財一覧」加古川市HP、「兵庫県版レッドリスト2010(植物・植物群落)」兵庫県HP、「第3回自然環境保全基礎調査(特定植物群落調査)」(昭和63年、環境庁)、「第5回自然環境保全基礎調査(特定植物群落調査)」(平成12年、環境省)、「第6回自然環境保全基礎調査(巨樹・巨木林調査)」(平成12年、環境省)、「明石市の保護樹木・樹林一覧」(平成30年9月 明石市都市整備部緑化公園課調べ)、「高砂市保存樹」(平成30年9月 高砂市まちづくり部土木管理室建設課調べ)、「姫路市の保存樹・保護地区」(平成29年3月 姫路市)、「自然環境の保全」姫路市HP、「市民の木ー覧」神戸市HP、「第4回自然環境保全基礎調査 兵庫県動植物分布図」(平成7年、環境庁)、「自然環境調査Web-GIS 植生図」環境省自然環境局生物多様性センターHP、「生物多様性の観点から重要度の高い海域」環境省HP、「兵庫県版レッドリスト2011(地形・地質・自然景観・生態系)」兵庫県HP、「平成30年度兵庫県鳥獣保護区等位置図」兵庫県HP、「兵庫県の自然公園」兵庫県HP、「土地利用調整総合支援ネットワークシステム(LUCKY)」国土交通省国土政策局総合計画課HP

4-3. 対応方針(案)の検討

加古川ルートと明石ルートの比較

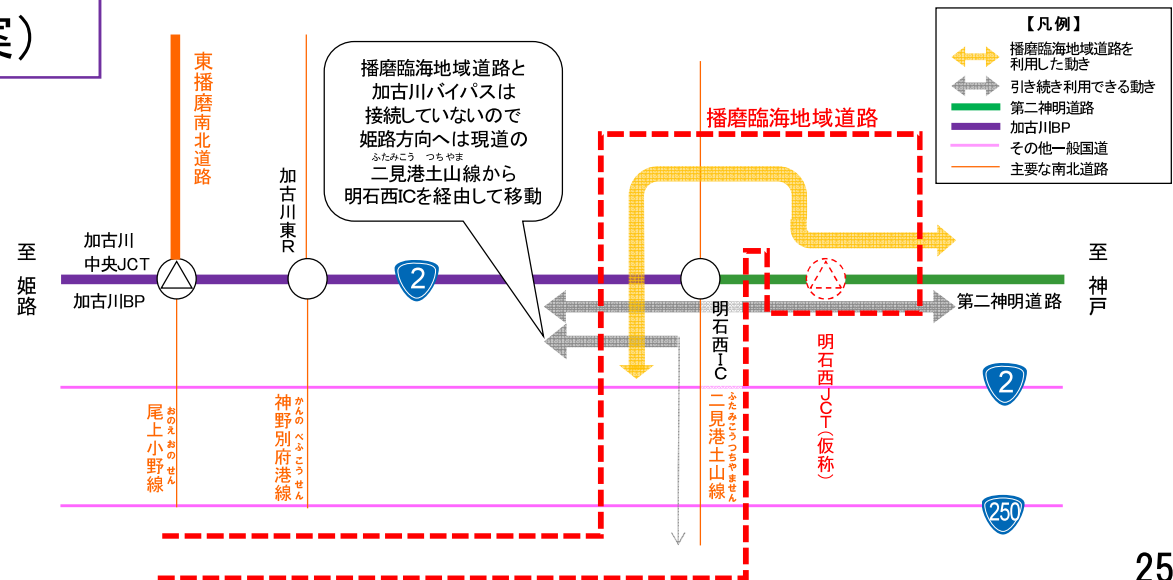
【加古川ルート】の接続方向(案)

○国道2号BPに新たなJCT設置を想定しており、明石西IC及び加古川東ランプ周辺の現道の渋滞緩和が期待できる。



【明石ルート】の接続方向(案)

○明石西IC周辺へ接続した場合、渋滞・事故の助長が懸念されることから、IC周辺には接続しないことを想定しており、明石西IC及び加古川東ランプ周辺の現道の渋滞緩和については加古川ルートに比べて劣る。



4-2. ルート帯案(複数案の比較評価)

		内陸ルート		沿岸ルート	
評価軸		案1-1 内陸・加古川ルート	案1-2 内陸・明石ルート	案2-1 沿岸・加古川ルート	案2-2 沿岸・明石ルート
ルート帯の概要		・住居系地域と工業系地域の間を導入空間の基本とする案	・住居系地域と工業系地域の間を導入空間の基本とする案	・企業地内や海上空間を導入空間の基本とする案	・企業地内や海上空間を導入空間の基本とする案
政策目標	製造業の活性化、投資促進	◎ 臨海部からの阪神方面への連絡時間の短縮 ◎ 南北道路における生活交通との混在による渋滞の回避	◎ ・バイパスまでのアクセス性が良く、阪神方面への連絡時間短縮が期待できる。 △ ・臨海部からの移動において、主要渋滞箇所を通過しなくなるため、南北道路、特に明石西IC及び加古川東ランプ付近の渋滞緩和が期待できる。	△ ・バイパスまでのアクセス性に劣るため、阪神方面への連絡時間短縮は内陸ルートに比べて劣る。 《内陸ルートより約1.2km ^{※1} 海側を通過》 ◎ ・臨海部からの移動において、主要渋滞箇所を通過しなくなるため、南北道路、特に明石西IC及び加古川東ランプ付近の渋滞緩和が期待できる。	△ ・バイパスまでのアクセス性に劣るため、阪神方面への連絡時間短縮は内陸ルートに比べて劣る。 《内陸ルートより約1.2km ^{※1} 海側を通過》 △ ・臨海部からの移動において主要渋滞箇所の通過がなくなり、南北道路の渋滞緩和が期待できるが、明石西IC及び加古川東ランプ付近の渋滞緩和については加古川ルートに比べて劣る。
	観光周遊の促進	◎ 産業交通の転換による国道2号BPの観光交通の速達性・定時性の向上	◎ ・神戸～姫路間の移動時間・距離が短縮され、姫路城等の観光地への速達性、定時性の向上が期待できる。	△ ・神戸～姫路間の移動時間・距離が短縮され、姫路城等の観光地への速達性、定時性の向上が期待できるが、内陸ルートに比べて劣る。	△ ・神戸～姫路間の移動時間・距離が短縮され、姫路城等の観光地への速達性、定時性の向上が期待できるが、内陸ルートに比べて劣る。
	交通事故の削減	◎ 国道2号BPにおける渋滞解消による追突事故の削減 ◎ 南北道路からの産業交通の転換による事故の削減	◎ ・国道2号BPの渋滞緩和による追突事故の削減が期待できる。 ◎ ・南北道路の渋滞緩和による交通事故の削減が期待できる。	△ ・国道2号BPから新しいルートへの交通転換が限定的であり、交通事故の削減効果は内陸ルートに比べて劣る。 △ ・国道2号BPから新しいルートへの交通転換が限定的であり、南北道路の交通事故の削減への期待は内陸ルートに比べて劣る。	△ ・国道2号BPから新しいルートへの交通転換が限定的であり、交通事故の削減効果は内陸ルートに比べて劣る。 △ ・国道2号BPから新しいルートへの交通転換が限定的であり、南北道路の交通事故の削減への期待は内陸ルートに比べて劣る。
	災害に強いまちづくり	◎ 災害時に機能するネットワークの確保	◎ ・別線整備とすることで災害時のリダンダンシーが確保できる。 ◎ ・主に住居系地域に近い内陸部を通るため、災害時の避難・救助等に際しての活用効果が高い。	△ ・別線整備とすることで災害時のリダンダンシーが確保できる。 △ ・主に海上を通るため、災害時の避難・救助等に際しての活用効果は内陸ルートに比べて劣る。	△ ・別線整備とすることで災害時のリダンダンシーが確保できる。 △ ・主に海上を通るため、災害時の避難・救助等に際しての活用効果は内陸ルートに比べて劣る。
配慮事項(その他)	生活環境への影響	△ ・一部集落・市街地を通過するため、大気、騒音等の生活環境への影響が懸念される。	△ ・一部集落・市街地を通過するため、大気、騒音等の生活環境への影響が懸念される。	○ ・一部集落・市街地を通過するため、大気、騒音等の生活環境への影響が懸念されるが、内陸ルートに比べ影響する範囲は少ない。	◎ ・一部集落・市街地を通過するため、大気、騒音等の生活環境への影響が懸念されるが、他案に比べ影響する範囲は少ない。
	自然環境への影響	◎ ・自然環境の考慮すべき箇所は、概ね回避するため、自然環境への影響は小さい。	◎ ・自然環境の考慮すべき箇所は、概ね回避するため、自然環境への影響は小さい。	◎ ・自然環境の考慮すべき箇所は、概ね回避するため、自然環境への影響は小さい。	◎ ・自然環境の考慮すべき箇所は、概ね回避するため、自然環境への影響は小さい。
	支障となる家屋及び工場等	○ ・家屋:約240棟 工場等:約240棟 ・公共空間・市街化調整区域通過割合:約6割	△ ・家屋:約240棟 工場等:約330棟 ・公共空間・市街化調整区域通過割合:約5割	○ ・家屋:約170棟 工場等:約120棟 ・公共空間・市街化調整区域通過割合:約6割	◎ ・家屋:約60棟 工場等:約120棟 ・公共空間・市街化調整区域通過割合:約5割
コスト		◎ 約5,900億円	○ 約6,200億円	○ 約9,300億円	△ 約9,500億円

※1)内陸ルート帯中央部から沿岸ルート帯中央部までの平均距離

【凡例】 ◎:最も評価できる ○:評価できる △:他案に比べて劣る

全ての意見聴取(住民等・事業所アンケート、オープンハウス、関係団体ヒアリング)の結果、重視する意見が多い項目

4-5. 対応方針(案)の検討

◇対応方針(案)

- 地域の意見聴取結果において、政策目標、配慮事項、コストの8項目のうち、6項目(製造業の活性化、投資促進・交通事故の削減・災害に強いまちづくり・生活環境への影響・自然環境への影響・支障となる家屋及び工場等)について重視すべきとする意見が多く寄せられている。
- このうち、住民等・事業所アンケート、オープンハウス、関係団体ヒアリング全ての意見聴取において、「製造業の活性化、投資促進」、「交通事故の削減」、「災害に強いまちづくり」について重視すべきとする意見が多く、3項目全てにおいて効果が期待できる案は「内陸・加古川ルート」である。
- また、その他の重視すべきとする意見が多く寄せられた事項(生活環境への影響・自然環境への影響・支障となる家屋及び工場等)については、今後の環境影響評価手続きや路線・構造の検討において、一定程度影響を軽減することができると考える。

「【案1-1】内陸・加古川ルート」が最も適していると考え



5. 自治体への意見照会

5. 自治体への意見照会（対応方針(案)に対する意見）

■ 自治体意見照会の回答

自治体	意見
兵庫県	1 播磨臨海地域道路における対応方針(案)について、同意します。つきましては、対応方針の決定が早期に実施されるようお願いいたします。 2 本道路は、国道2号バイパスの慢性的な渋滞を解消し、「ひと」「もの」の流れを抜本的に改善し、製造業の活性化や観光周遊の促進に資する道路であり、将来にわたり播磨地域の自立・持続的発展に大きく寄与する重要な道路です。また、播磨臨海地域の物流や周辺地域の観光等の経済活動復興を下支えする道路としても期待されています。 3 このため、兵庫県においても、早期事業着手に向け、国や沿線市町と協力し、都市計画及び環境影響評価の手続を鋭意進めてまいりますので、今後、貴職におかれましても、必要な手続を着実に進め、早期に事業化されるようお願いいたします。 4 なお、事業化にあたっては、本道路の早期完成に向けた事業主体の役割分担や、有料道路事業の導入のほか、国道2号バイパスから本道路への交通転換を図る方策などについて、具体的な検討を進めていただきますようお願いいたします。 5 本道路の一日も早い全線完成に向け、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。
神戸市	1 「慢性的な渋滞とそれに伴う経済への影響」等の課題解決を図り、神戸港へのアクセス強化が実現できる道路となると考えますので、示された対応方針(案)について同意します。 2 今後、都市計画手続き及び環境影響評価の手続きが進められることから、神戸市においても手続きが円滑に進むよう国、県、関係市町と連携し事業推進に取り組んでまいりたいと考えています。 3 整備費用は巨額であることから、全線にわたって有料道路事業を導入し、利用者負担(受益者負担)により財源を確保する事業スキームとなるよう検討をお願いします。 4 第二神明道路の明石西JCT(仮称)より東側の区間への影響についても十分に検討していただき、影響のある場合については対応していただきますようお願いいたします。 5 播磨臨海地域道路の一日も早い事業化に向け、より一層の取り組みをお願いします。

5. 自治体への意見照会（対応方針(案)に対する意見）

■ 自治体意見照会の回答

自治体	意見
姫路市	1 播磨臨海地域道路(第二神明～広畑)の計画段階評価における対応方針(案)に同意します。 2 本路線は、国道2号バイパスの渋滞解消を図るとともに、災害時の同バイパスの代替路線として交通ネットワークを強化する重要な路線であり、また、民間投資拡大による雇用創出や東西二軸構造の構築による物流効率の向上、神戸港など国際物流拠点へのアクセス強化など、播磨臨海地域の発展に大いに寄与するものです。 3 本ルート帯案については、住宅系地域と工業系地域の間を導入空間の基本とする案であり、本市東西に存する道路や水路、緑地等の公共空間を活用することで、沿道地域への影響を最小限にするとともに、早期整備につながるものと考えています。 今後、有料道路事業の導入検討などあらゆる可能性を排除せずに、必要な手続きを着実に進め、早期に事業化されるようお願いいたします。 4 本市としまして、早期事業着手に向け、関係機関及び地元調整等、引き続き協力してまいります。
明石市	1 播磨臨海地域道路における対応方針(案)に対しては、特に意見はありません。 2 今後の事業実施に向けては、周辺の住環境や市民生活にご配慮いただくとともに、住民の意見を十分に反映していただきますようお願い申し上げます。
加古川市	1 播磨臨海地域道路(第二神明～広畑)の計画段階評価における対応方針(案)について、同意します。 2 本道路は、本市の臨海部における地域経済の強化・産業の振興、さらには国道2号バイパスの慢性的な渋滞解消や交通事故の削減を図るため、早期整備が望まれている大変重要な道路です。 また、本道路を活かした新たな土地利用の可能性や、周辺地域の活性化などのストック効果を大いに期待しています。 3 本道路の優先区間である「第二神明～明姫幹線」の整備に際しては、本市域の臨海工業地域のアクセスについても、ご配慮いただきますようお願いいたします。 4 本市としまして、早期事業化にむけて兵庫県や関係市町と連携し、地元及び関係機関との調整に協力して参りますので、計画の具体化に際しては、地域の住環境及び企業の事業継続についても、十分にご配慮をお願いいたします。 5 本道路の一日も早い全線完成に向け、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

5. 自治体への意見照会（対応方針(案)に対する意見）

■ 自治体意見照会の回答

自治体	意見
高砂市	1 播磨臨海地域道路における対応方針(案)について同意します。 2 本道路は、国道2号バイパスの慢性的な渋滞を解消し、「ひと」「もの」の流れを抜本的に改善し、製造業の活性化や観光周遊の促進に資する道路であり、将来にわたり播磨地域の自立・継続的发展に大きく寄与する重要な道路です。このため、今後、必要な手続きを着実に進め、早期に事業化されるようお願いいたします。 3 生活環境への影響・自然環境への影響・支障となる家屋及び工場等については、路線・構造を検討する過程において軽減していただきたい。 4 本道路の一日も早い全線完成に向け、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。
稲美町	1 播磨臨海地域道路(第二神明～広畑)における近畿地方整備局としての対応方針(案)について、同意します。 2 本道路は、東播磨地域と神戸地域や西播磨地域等との連携や交流を強化する道路であり、現在の国道2号バイパスや国道2号線など東西幹線の渋滞が緩和されアクセス利便性が向上することにより、地域の物流及び地域の経済発展に大きく寄与します。 稲美町においても農産物大型直売所など既存の地域産業の発展はもとより、工業地構想も計画しており、本道路が町内を通過するならアクセス強化のためにも町内にインターチェンジを強く要望します。 なお、事業実施に向けては、地域の生活環境や自然環境への影響をできる限り回避・低減に努めていただきますようお願いいたします。 3 今後、事業が円滑に推進できるよう、関係機関協議や地元調整等も引き続き協力してまいりますので、必要な手続きを着実に進めていただき、早期に事業化されるようお願いいたします。 4 本道路の一日も早い全線完成に向け、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。
播磨町	・ 播磨臨海地域道路における対応方針(案)について、同意します。 ・ 国道2号バイパスなど交通道路網の容量不足から渋滞が慢性化しており、円滑な物流が阻害され、地域が持つ産業集積の特性が十分に発揮されていない状況にあります。播磨臨海地域道路の早期整備により、広域的な経済活動の活性化、震災時における代替路線の確保、産業交通のアクセス機能の強化など大きな効果が得られるものと期待しております。 ・ 播磨臨海地域道路の早期事業化に向けて国、県、関係市町と協力してまいります。 ・ 事業化に向けて、排ガス・粉じん及び騒音・振動等による生活環境への影響について、回避または低減をお願いします。なお、周辺の主要道路や工場等を含めた複合影響についても考慮し、住民の生活環境に配慮をお願いします。

5. 自治体への意見照会（対応方針(案)に対する意見）

■ 自治体意見照会の回答(兵庫県、神戸市)

道企第1083号
令和2年6月23日

国土交通省近畿地方整備局長 様

兵庫県知事 井戸 敏三



道路事業の計画段階評価に係る意見照会について（回答）

令和2年6月22日付け国近整道一計第9号で照会のありました標記のことについて、下記のとおり回答します。

記

- 1 播磨臨海地域道路における対応方針(案)について、同意します。つきましては、対応方針の決定が早期に実施されるようお願いいたします。
- 2 本道路は、国道2号バイパスの慢性的な渋滞を解消し、「ひと」・「もの」の流れを抜本的に改善し、製造業の活性化や観光周遊の促進に資する道路であり、将来にわたり播磨地域の自立・持続的発展に大きく寄与する重要な道路です。また、播磨臨海地域の物流や周辺地域の観光等の経済活動復興を支える道路としても期待されています。
- 3 このため、兵庫県においても、早期事業着手に向け、国や沿線市町と協力し、都市計画及び環境影響評価の手続を鋭意進めてまいりますので、今後、貴職におかれましても、必要な手続を着実に進め、早期に事業化されるようお願いいたします。
- 4 なお、事業化にあたっては、本道路の早期完成に向けた事業主体の役割分担や、有料道路事業の導入のほか、国道2号バイパスから本道路への交通転換を図る方策などについて、具体的な検討を進めていただきますようお願いいたします。
- 5 本道路の一日も早い全線完成に向け、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

(問合せ先)
兵庫県県土整備部土木局
道路企画課高速道路推進室
電話：078-362-9243

神建湾推第24号
令和2年6月24日

国土交通省
近畿地方整備局
姫路河川国道事務所長 殿

神戸市長 久元 喜造



道路事業の計画段階評価に係る意見照会について（回答）

令和2年6月22日付け国近整姫調第34号で照会のありました標記につきまして、下記の通り回答いたします。

記

- 1 「慢性的な渋滞とそれに伴う経済への影響」等の課題解決を図り、神戸港へのアクセス強化が実現できる道路となると考えますので、示された対応方針(案)について同意します。
- 2 今後、都市計画手続き及び環境影響評価の手続きが進められることから、神戸市においても手続きが円滑に進むよう国、県、関係市町と連携し事業推進に取り組んでまいりたいと考えています。
- 3 整備費用は巨額であることから、全線にわたって有料道路事業を導入し、利用者負担(受益者負担)により財源を確保する事業スキームとなるよう検討をお願いします。
- 4 第二神明道路の明石西JCT(仮称)より東側の区間への影響についても十分に検討していただき、影響のある場合については対応していただきますようお願いいたします。
- 5 播磨臨海地域道路の一日も早い事業化に向け、より一層の取り組みをお願いします。

以上

5. 自治体への意見照会（対応方針(案)に対する意見）

■ 自治体意見照会の回答(姫路市、明石市)

姫交計第2007号
令和2年6月24日

国土交通省 近畿地方整備局
姫路河川国道事務所長 様

姫路市長 清元 秀泰



道路事業の計画段階評価に係る意見照会について（回答）

令和2年6月22日付け国近整姫調第34号で照会のありました標記のことについて、下記のとおり回答します。

記

- 1 播磨臨海地域道路(第二神明～広畑)の計画段階評価における対応方針(案)に同意します。
- 2 本路線は、国道2号バイパスの渋滞解消を図るとともに、災害時の同バイパスの代替路線として交通ネットワークを強化する重要な路線であり、また、民間投資拡大による雇用創出や東西二軸構造の構築による物流効率の向上、神戸港など国際物流拠点へのアクセス強化など、播磨臨海地域の発展に大いに寄与するものです。
- 3 本ルート帯案については、住宅系地域と工業系地域の間を導入空間の基本とする案であり、本市東西に存する道路や水路、緑地等の公共空間を活用することで、沿道地域への影響を最小限にするとともに、早期整備につながるものと考えています。
今後、有料道路事業の導入検討などあらゆる可能性を排除せずに、必要な手続きを着実に進め、早期に事業化されるようお願いします。
- 4 本市としましても、早期事業着手に向け、関係機関及び地元調整等、引き続き協力してまいります。

明 道 整 第 7 9 号
2020年(令和2年)6月23日

国土交通省近畿地方整備局
姫路河川国道事務所長 様

明石市長 泉 房雄



道路事業の計画段階評価に係る意見照会について（回答）

令和2年6月22日付け国近整姫調第34号で照会のありました標記のことについて、下記のとおり回答します。

記

- 1 播磨臨海地域道路における対応方針(案)に対しては、特に意見はありません。
- 2 今後の事業実施に向けては、周辺の住環境や市民生活にご配慮いただくとともに、住民の意見を十分に反映していただきますようお願い申し上げます。

(問合せ先)
明石市都市局
道路安全室道路整備課
電話：078-918-5034

5. 自治体への意見照会（対応方針(案)に対する意見）

■ 自治体意見照会の回答（加古川市、高砂市）

国土交通省近畿地方整備局
姫路河川国道事務所 様

加 計 第 5386 号
令和 2 年 6 月 25 日

加古川市長 岡田 康裕



道路事業の計画段階評価に係る意見照会について（回答）

令和 2 年 6 月 22 日付け国近整姫調第 34 号で照会のありました標記のことについて、下記のとおり回答します。

記

- 1 播磨臨海地域道路（第二神明～広畑）の計画段階評価における対応方針(案)について、同意します。
- 2 本道路は、本市の臨海部における地域経済の強化・産業の振興、さらには国道 2 号バイパスの慢性的な渋滞解消や交通事故の削減を図るため、早期整備が望まれている大変重要な道路です。
また、本道路を活かした新たな土地利用の可能性や、周辺地域の活性化などのストック効果を大いに期待しています。
- 3 本道路の優先区間である「第二神明～明姫幹線」の整備に際しては、本市域の臨海工業地域のアクセスについても、ご配慮いただきますようお願いいたします。
- 4 本市としまして、早期事業化にむけて兵庫県や関係市町と連携し、地元及び関係機関との調整に協力して参りますので、計画の具体化に際しては、地域の住環境及び企業の事業継続についても、十分にご配慮をお願いいたします。
- 5 本道路の一日も早い全線完成に向け、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

高 都 第 140 号の 2
令和 2 年 6 月 25 日

国土交通省近畿地方整備局
姫路河川国道事務所 様

高砂市長 都倉 達殊



道路事業の計画段階評価に係る意見照会について（回答）

令和 2 年 6 月 22 日付国近整姫調第 34 号で照会のありました標記のことについて、下記のとおり回答します。

記

- 1 播磨臨海地域道路における対応方針（案）について同意します。
- 2 本道路は、国道 2 号バイパスの慢性的な渋滞を解消し、「ひと」「もの」の流れを抜本的に改善し、製造業の活性化や観光周遊の促進に資する道路であり、将来にわたり播磨地域の自立・継続的發展に大きく寄与する重要な道路です。このため、今後、必要な手続きを着実に進め、早期に事業化されるようお願いいたします。
- 3 生活環境への影響・自然環境への影響・支障となる家屋及び工場等については、路線・構造を検討する過程において軽減していただきたい。
- 4 本道路の一日も早い全線完成に向け、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

5. 自治体への意見照会（対応方針(案)に対する意見）

■ 自治体意見照会の回答(稲美町、播磨町)

国土交通省近畿地方整備局
姫路河川国道事務所長 様

稲 地 都 第 5 3 号
令和 2 年 6 月 2 4 日

稲美町長 古 谷 博



道路事業の計画段階評価に係る意見照会について（回答）

令和 2 年 6 月 2 2 日付け国近整姫調第 3 4 号で照会のありました標記のことに
ついて、下記のとおり回答します。

記

- 1 播磨臨海地域道路（第二神明～広畑）における近畿地方整備局としての対応方針（案）について、同意します。
- 2 本道路は、東播磨地域と神戸地域や西播磨地域等との連携や交流を強化する道路であり、現在の国道 2 号バイパスや国道 2 号線など東西幹線の渋滞が緩和されアクセス利便性が向上することにより、地域の物流及び地域の経済発展に大きく寄与します。
稲美町においても農産物大型直売所など既存の地域産業の発展はもとより、工業地構想も計画しており、本道路が町内を通過するならアクセス強化のためにも町内にインターチェンジを強く要望します。
なお、事業実施に向けては、地域の生活環境や自然環境への影響をできる限り回避・低減に努めていただきますようお願いいたします。
- 3 今後、事業が円滑に推進できるよう、関係機関協議や地元調整等も引き続き協力してまいりますので、必要な手続を着実に進めていただき、早期に事業化されるようお願いいたします。
- 4 本道路の一日も早い全線完成に向け、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

国土交通省
近畿地方整備局
姫路河川国道事務所長 様

播 都 第 2 0 6 号
令和 2 年 6 月 2 3 日

播磨町長 清水 ひろ子



道路事業の計画段階評価に係る意見照会について（回答）

令和 2 年 6 月 2 2 日付け国近整姫調第 3 4 号で照会のありました標記の件につ
いて、下記のとおり回答します。

記

- ・ 播磨臨海地域道路における対応方針(案)について、同意します。
- ・ 国道 2 号バイパスなど交通道路網の容量不足から渋滞が慢性化しており、円滑な物流が阻害され、地域が持つ産業集積の特性が十分に発揮されていない状況にあります。播磨臨海地域道路の早期整備により、広域的な経済活動の活性化、震災時における代替路線の確保、産業交通のアクセス機能の強化など大きな効果が得られるものと期待しております。
- ・ 播磨臨海地域道路の早期事業化に向けて国、県、関係市町と協力してまいります。
- ・ 事業化に向けて、排ガス・粉じん及び騒音・振動等による生活環境への影響について、回避または低減をお願いします。なお、周辺の主要道路や工場等を含めた複合影響についても考慮し、住民の生活環境に配慮をお願いします。

問い合わせ先
播磨町都市計画グループ
電話：079-435-2366

6. 対応方針(案)まとめ

6. 対応方針(案)

1. 道路整備の必要性

【理由】	【地域の意見聴取等の結果】	
政策目標を実現できる道路整備を検討 【政策目標】 ○製造業の活性化、投資促進 ○観光周遊の促進 ○交通事故の削減 ○災害に強いまちづくり	地域の課題	○ 地域が感じている播磨臨海地域の課題は、「慢性的な渋滞とそれに伴う経済への影響」、「渋滞が及ぼす観光への悪影響」、「多発する交通事故」、「災害リスク」に関する内容が多い。
	道路整備の有効性	○ 住民や事業所など、回答いただいた道路利用者の多くが、道路整備の有効性を感じている。
	ルート検討において重視すべき項目	○ 住民等・事業所アンケート、オープンハウス、関係団体ヒアリングによる意見聴取の結果、「製造業の活性化、投資促進」、「交通事故の削減」、「災害に強いまちづくり」、「生活環境への影響」、「自然環境への影響」、「支障となる家屋及び工場等」に関して重視すべきとする意見が多い。 ○ このうち、「製造業の活性化、投資促進」、「交通事故の削減」、「災害に強いまちづくり」については、全ての意見聴取において重視する意見が多く、重視すべき項目とする。
	自治体の意見	○ 兵庫県及び各関係自治体から、対応方針(案)に同意するとともに、早期事業化についての要望等をいただいている。

2. 対応方針(案)

ルート帯案については、加古川市の市街化調整区域及び住宅密集地と企業集積地の間の空間や公共空間を活用する「内陸・加古川ルート」を対応方針案とする。

【理由】

- 地域の意見聴取結果において、政策目標、配慮事項、コストの8項目のうち、6項目(製造業の活性化、投資促進・交通事故の削減・災害に強いまちづくり・生活環境への影響・自然環境への影響・支障となる家屋及び工場等)について重視すべきとする意見が多く寄せられている。
- このうち、住民等・事業所アンケート、オープンハウス、関係団体ヒアリング全ての意見聴取において、「製造業の活性化、投資促進」、「交通事故の削減」、「災害に強いまちづくり」について重視すべきとする意見が多く、3項目全てにおいて効果が期待できる案は「内陸・加古川ルート」である。
- また、その他の重視すべきとする意見が多く寄せられた事項(生活環境への影響・自然環境への影響・支障となる家屋及び工場等)については、今後の環境影響評価手続きや路線・構造の検討において、一定程度影響を軽減することができると考える。
- 従って、「内陸・加古川ルート」が最も適していると考ええる。

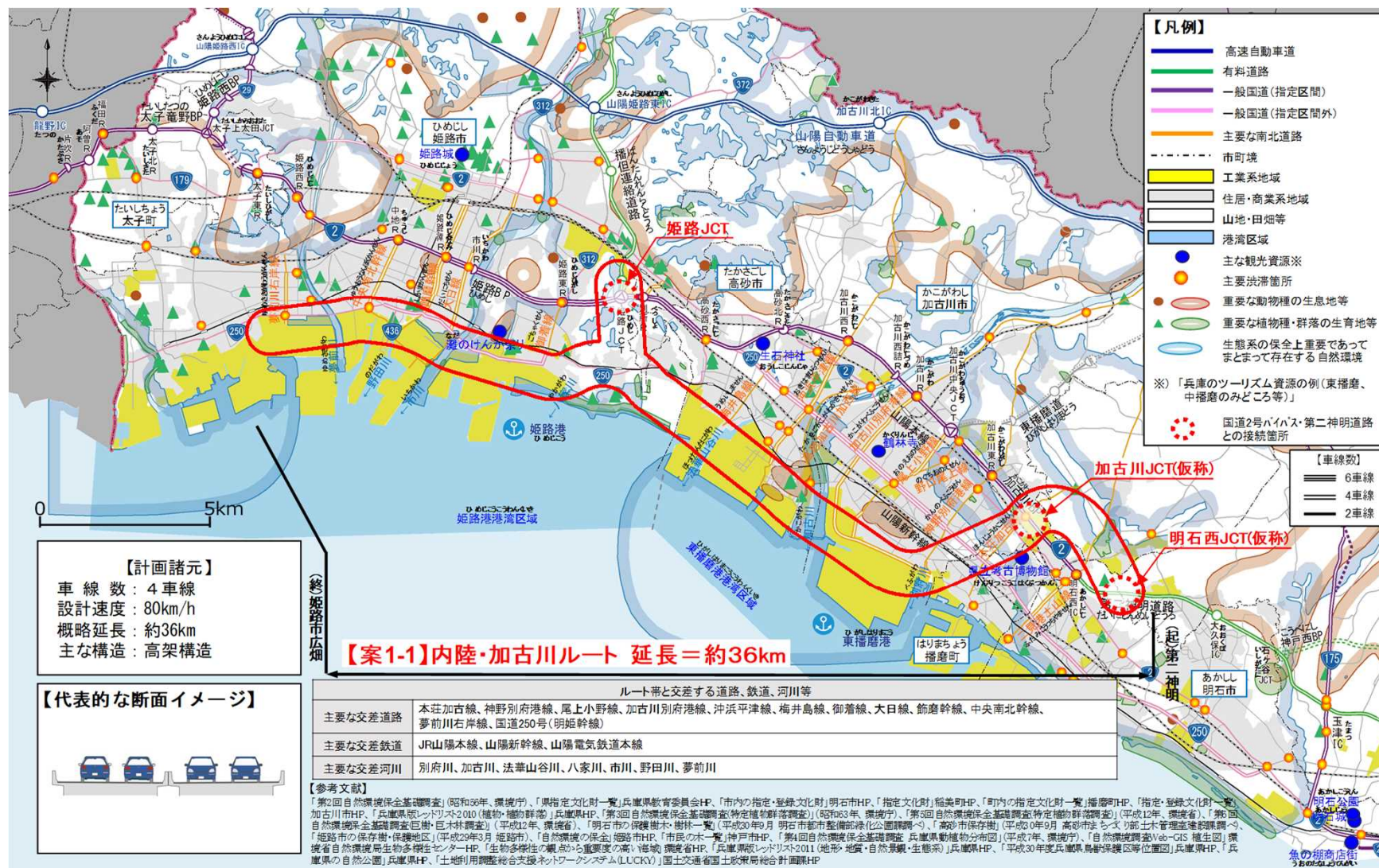
3. その他

- 詳細なルート・構造の検討にあたっては、自然環境への影響、移転等が必要な家屋や工場数をできる限り少なくするとともに、コスト縮減に留意して検討を行う。また、既存の道路状況を踏まえ、新たに整備される道路との接続方法について、各関係自治体と調整を行う。

6. 対応方針(案)

◇ ルート帯案

【案1-1】内陸・加古川ルート …加古川市の市街化調整区域及び住宅密集地と企業集積地の間の空間や公共空間を活用する案



7. 今後の流れ(案)

7. 今後の流れ(案)

■ 今後のスケジュール(案)

【令和2年6月】

